



## 困難を乗り越えて

校長 矢野 尊久

就職などの面接で必ずといっていいほど聞かれる質問に「あなたは困難なことにぶつかったときにどのようにして乗り越えてきましたか」といった内容があります。これは主体的に目標をもって生活している人ほど困難な状況に見舞われることが多く、社会人としてたくましく活躍するためには欠かせない能力として問題解決力能力やその取組姿勢があるからです。目的もなく生活している人にはおそらく困難らしい壁にはぶつかることは少ないでしょう。困難なことにぶつかるということは目標をもって過ごしている証拠です。ですから、その人の本当の力を見るために、困難にぶつかってどのように考え、取り組んできたかということの一つの「ものさし」になるのだと思います。

さて、3月6日に2年ぶりとなる合唱コンクールが開催されました。合唱はご存じの通り、一人だけが頑張って歌ってもよいものにはなりません。歌が得意な人もそうでない人も自分のできることに取り組んでこそ一つの合唱ができあがります。集団の中で「自分は何ができるのか、何をしたのか」が問われる行事です。まさに、学年や学級づくりには欠かせない行事です。結果も大切ですが、どう取り組んだかということの方が大切です。合唱コンクールでは「合唱の楽しさ・美しさを味わい、情操を豊かにさせる」などが目標になりますが、それ以外にも責任を果たす態度や集団としての団結、お互いを認め合うことも重要な目標です。コンクールなので生徒たちは学級で合唱をより良いものにしよう、より上位を目指そうと取り組んでいます。いつもスムーズにいくとは限りません。思ってもみない壁や困難にぶつかることは練習中から当日まであります。その上手いいかないこと、困難なことにどのように立ち向かっていけばいいかということの答えは、その過程を通してでしか学ぶことはできません。答えが書いてある教科書はありません。正解は真剣に立ち向かった人にしか分からないものです。それは、人それぞれが気持ちや得意なことが違い、自分はどうなことができ、どのようにすることが集団としての役割なのかがその時々で違うからです。そして毎年行われている行事であったとしても昨年のまでの経験が生かせるとは限りません。真剣に取り組めば取り組むほど様々なドラマは起こりますが、子供たちには乗り越えた成果を共有してくれればと思います。そんな意味で、合唱コンクールが今年、2年ぶりに開催されたことは子供たちの一つの成長につながる貴重な機会になったと思っています。

さて、冒頭の就職の面接で「困難なことにぶつかったことはありますか」という質問に対して「特にありません」と答える若手がいるという話を聞きます。そう答える人は乱暴な言い方かもしれませんが、目標もなく過ごしてきた？……とってしまう。子供たちには今回の合唱コンクールで得たことを大切に次の学校生活や、新しい環境での活躍につなげてほしいと願っています。合唱コンクールの前と後では、成長があってこそ意義があるのだと思います。そして、その過程、集団の中で欠かせないのが友達や先生の存在であってほしいと願っています。来年度の合唱コンクールはコロナ禍前の日程に戻して、令和5年10月14日（土）に今年度と同様に文華女子高等学校の講堂をお借りして実施する予定です。

当日の様子はホームページもご覧ください。▶





◆◆合唱コンクール金賞・銀賞各学年◆◆

1年生は2学級で金賞 接戦の歌声

C組「怪獣のバラード」

A組「行き先」



2年生金賞 声量もハーモニーも抜群

B組「輝くために」

銀賞

C組「明日へ」



3年生金賞（上）銀賞（下） 大人の合唱を披露

A組「虹」 D組「春に」

保護者の感想・抜粋→



クラスの最後の団結力を見られてうれし  
い／コロナ禍での開催、本当に大変だ  
ったと思いますが、見させていただき感謝  
／コンクールに向けて頑張っている様子  
や話を聞くことができたので本番まで  
の間、こちらも楽しかった／約3年ぶりの  
歌声にとっても感動／各クラス、素晴ら  
しかった／聞くときに、すぐに話をやめて、  
しっかり話す人に集中できる点に二中の  
生徒のレベルの高さがうかがえました／  
歌うことが苦手な子もお互いにできな  
いところをカバーし合っているであろう  
合唱はとても良かった／来年はマスクを  
外して歌えるといいですね／指揮、伴  
奏、コーラスしっかり練習されて、久々  
に聴く子供たちの歌声に感動／子供た  
ちの合唱する姿に涙が出てしまいました  
／小学校も含め数年ぶりの合唱に大変感  
動／子供の頃に歌った曲もあり、懐か  
しくて一緒に歌いたくなりました……